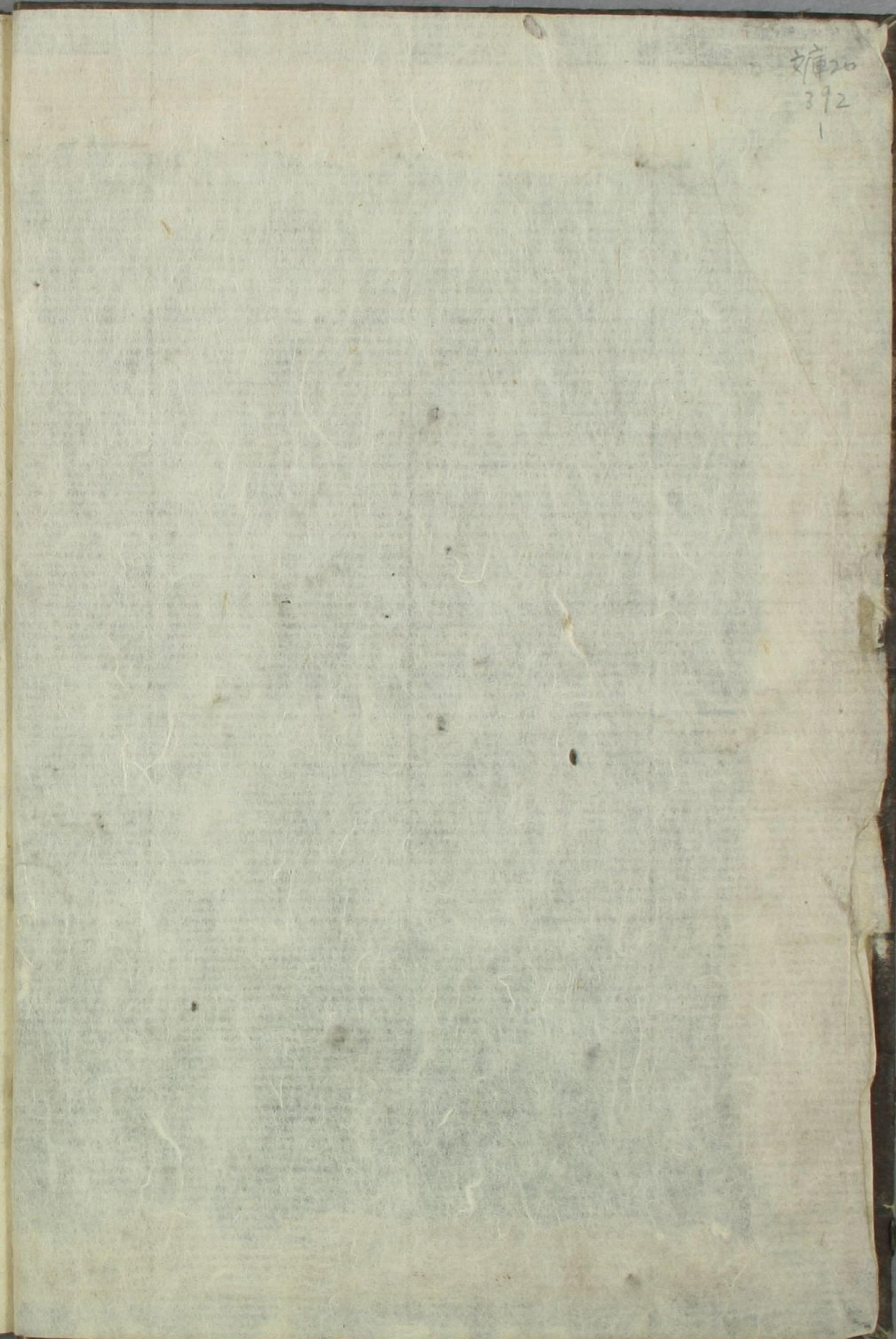


文庫20
392
1

伊勢物語上之巻



伊勢物語上

伊地知氏書

和篇
ひよし。男うねりありして。あらのまがすうの里にまふ
よ。さてやうにひよし。うのちふとああめいどる女。
すみうちもじ男かひまみてぐり。ありとぞ。お臺
よ。とけくさと。せきとば。ひまきり。男の
きみけ。かくまぬのすととさりて。奇兵。やま
うのゆと。おのよさうれ。わゑと。うん。きくう
か。まご。の。お。ま。う。れ。か。く。う。あ。れ。そ
やうん。あ。ひ。す。て。ひ。や。く。う。は。ゆ。で。あ。じ。ろ。う。と。よ。お。え
みらの。比。黒。が。じ。す。り。せ。ゆ。え。る。が。あ。か。お。う。な。に
と。り。よ。う。乃。ひ。ご。た。り。も。や。を。や
び。と。う。ん。一。く。



二 老男シニヤ。まのまのまへたまう。ばまぐり。人のあまくま
まくまがうけ。はよめぬまに女シテ。よまま
れううう。まくまかうらようへ。ひうりんはうううう。ひう
のうもあううううう。それと。のまめ男。うらやううう
て。ううきそ。いぐどひうく。はほ生ヤムの部ツバ。あくまくゆうけ。
ちるもせぐ神カミをでよみあじて。まのまのまをあくまく
三 老男シニヤ。じう女の麻シナ。ひうきれど。あくまく
とくあく。むぐれ。家ヤド、神カミもあひび。きゆくは神カミをあくまく
ニ柔シニヤの后アフタ。まごみう。ぐれても。ほくまう。おひで。あく
くわくれり。まくまふのこくまく
四 ゆう。ひぐれ。せまに。かくまう。のま。れり。ほくま
くみ。ゆくまう。それと。のよ。あくま。を。ゆくまう。まくま
くわくわく。紙ハガ。む月ツキの十日ヒ。ぐうれ。わくま。あくまくま

ありあきけど人のつむぎよべきあみあさづりけれども
やさしくうんあけふのとれむ月よ梅のをさづりにまご
ときてひまく立ててアシカニシテアシカニシテアシカニシテ
あさざ。うらわきく。あさざちるまく。月のせ
まく。うきうて。うきうて。うきうて。うきうて。
古今
日本書院
著者不詳

とよみく。お乃うのぐやあくまかくすりにち
五 じし男あきらめ。おのえ乗りてひそひていきう。
みうくなむすきれ。内よりもえつてまくらぐれあみあみ
みうくなむすきれ。内よりもえつてまくらぐれあみあみ
たびきをうかれ。あくしきつせきもせひぢみ。おまく
すてほりせきまくらぐれ。あくしきつせきもせひぢみ。おまく
人あれりがくひぢみ。おまく



と。よろけびざりとひき。かくす。あらゆるてう。二章
要ひてまうとせのやまけび。せうどまくせあひゆと
六 老男ありう。女のえうゆびうりうとひとてよび
りううとがううとねすとあくまけびまのうとをれう
あくた川とゆあとあくまけびまのうとをれう
をふ寝とがれうととたん男よとひう。ゆくとが
く。おもむけよそればおもおふともあう。せうと
りみじうなりぬもひく。ふうあれとあくまく
に。女をばおみちしれ。男らやがくおとふじとち
みきり。おれもあけうんととひつ。わううる恩や
いとくらよ。ひてう。あまやとりひされど。神かうじくよ
えきうざりう。やくくおもあけゆくアれ。おぞに
女力あしゃくとひとてあけどもめのう。

七 老男ありう。おにあくまじて。あづまひしきう。いせ
あうのあくひの海と行よ。かものひとあくひのをとそ
五種 いじくざさゆくのあがまがまくわくもあみふ
やうんようりあは

八 ひく。男ありう。あやすみうつけ。あづまのうと
ゆうて。まくおかりじと。あとすくひとくとくうと



おき。まきの、まおとおのじけよ。けのうりとアラ
タマのうりあくのひきよあら煙ともちもんのうりとおね
九 シテ。男エスアリ。アのれと、身をえまくわやどひか
して、家アハアド。あづまれて、モジギキシヨウカ
トモヒキケム。カトヨリアドスル人。ヒムスルアリして
リミタ。みらもおふくもすくて、モヒムコトアリ。アリハ
のくにゆきと、ツクシキ。モヒムコトアリ。アリハ
ハサウエのくそで、うれば。モヒトヤリ、モヒムコトアリ。ハ
持とひく。さのさわ乃アレ本乃ケヨ。アリ、カレハ
くひく。モハ、モカシツヅキの、トキアリ。カレトミ
アリ、アリハ、モヒツヅキトモアリ。ト、カレモヒツ
の、トキアリ。トヒク。カレハ、傳承
カ、承き、モアリ。モアレバ、モアリ。モアリ。

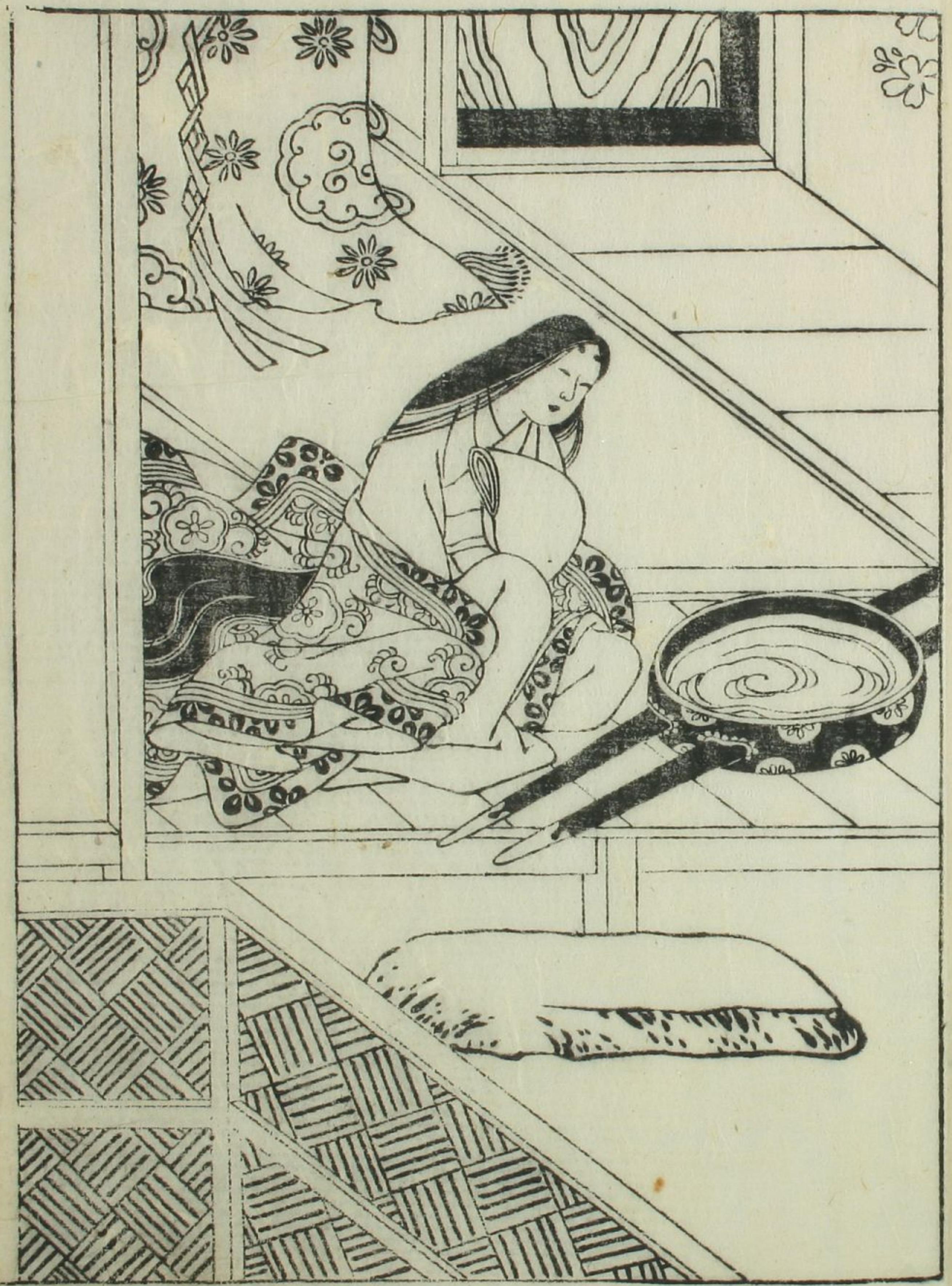
と。まちうれじきくわらひのふ間がとてやくひくわら
てすきれよはうて。ほほのとまつて。びしとすいたて
くくよ、それよはうて。まくわらかわとる
事とよにすがおあゆう。わくたひとくまを
ぐみくにたくまを人の心にとくまをせんじ
すきなうとくまを人へきくもとよあくわう
あとのとくまを。月のはとくにあらとくま
はくねくまがねいとくがくはくに雪のまくま
くとくとくまをとくまをとくまをとくまを
のとくとくまをとくまをとくまをとくまを
のとくとくまをとくまをとくまをとくまを

ああと云ふのうて思ひとすよ。まことにあれども人
をさかまわへらざりしも。ちくわのけり。とおとづき
ちきのせうさがなよ。ものよ。あそびつじを
ぬきされ。ひみかく。アトモ。アトモ。アトモ。
アトモ。アトモ。アトモ。アトモ。アトモ。

多幸あり。ひざあくえみをさき。がよ人わやなと
とよかうり。されば。こぞうて。さきへうり
十 葛男。むすめ。まへ。あ。と。い。あ。き。う。き。て。ま。ま。あ。ら。女。と
よ。う。ひ。う。り。よ。あ。い。せ。と。ひ。う。と。ゆ。う。え。あ。そ。う。き。く。よ。ん。つ。を
う。け。く。え。ひ。く。く。う。て。母。う。ん。き。ら。う。く。う。け。く。け。く。う。え
あ。そ。た。ま。ひ。と。く。と。う。く。ほ。ひ。と。ぐ。る。ふ。よ。み。と。く。を。う。く。
す。ひ。お。え。ん。つ。ま。は。く。う。み。よ。う。の。く。黒。か。り。う。
み。よ。せ。あ。ひ。ひ。う。も。ひ。う。あ。う。の。あ。う。せ。う。う。と。う。う。あ。

モジカムヨリナシテモシテアリ
ヤクヘノヒトモモウハアリタキヤマツアリ
十一 むじ男あつまへ絶えまがひとみらうひとせる
拾ひ
ワタリマヨドクをあがめぬとめでゆけのゆくわま
十二 者男エタツヘのむすめとおもててモヒテのゆそ絶え
ねどくちうけとぶふのうみがあらねより。女とまもせゆに
とまをせようたるレジ壁をとめかくさんと女まひて
ひや壁をとめかそり葉はすきをわづかすあらう
と。トシナカニセサヘて女とばとうて。シロガホソシム
十三 者しにう男家なる女の力と。さくめがともじせんえ様に
ときて。うべたむきあくときてとくせて。はまもせをなれ。東の女
むほあくらじふうとだむしよびとじとくとくは
やあく城ぐわんキシケテアリ

トグダムとくひハシモヒサミテ。桂のふかりも人をあらは
十四 者男ミシハ國す。すくはれはれはれにそり。そこから女家の人ハ
タゞやあくえせらにとくふもすんきけ。くの女
中へにまくまくとこまうなまくとく。まくとくとくをとく。
うみくそひもひもひける。ちくらふあくわくややわいえん。
いきてねより。おとく出よされば女
十五 者とあけハサウメをとく。おとく出よされば女
ヤ。シテ。おとく。おとくあくえまくとく
十六 うくのあくの勢人あくばるやこのはまくとくとく
とくとくとく。おとくとくとくとくとくとくとくとく
十七 ミラのヒトモモウハアリ。モヒテモヒテモヒテヒトモヒテヒトモ
アヤ一。アヤ一。アヤ一。アヤ一。アヤ一。アヤ一。アヤ一。アヤ一
アヤ一。アヤ一。アヤ一。アヤ一。アヤ一。アヤ一。アヤ一。アヤ一



十九。男アレやばう下け。女のアレ。さうちたまうをあひ
あうきうもん。かくまくまく。望とまう。かれど重され。女のもんは
アレゆきぬ。男へあき物。もたれひづれ女
古今一文。のよそほ人のさうゆく所とまやまほとゆりゆく

とよめりやうれいのうじ
をくわゆるよひそはのうじ

せんじやうりやるはねとあふへとくわひけ
二千。男。やまとあるをきやく。よびてあるよく。えど

かくまくとくにあればやうにあらうて
のまじめにやうにあらうとおもひます

高木の事は、おまえがおもつておる事だ。
おまえがおもつておる事だ。

廿一
もし男女とも。もしもうと。もふうと。ま
とひきま事。うあうえん。ひきま事。うつまて。せ
やをすひて。ひづひきまと。もひて。うゑくまと。ちよみ
く。お。う。か。さ。つ。キ。は

今やそぞらすまのうなをふむのちもあはせどもう耶
まもれまよゆきにきわゆく。もくひまよとまよまよは
みく。あまよげふひのうておとこ
聖事。まよんとあまのうよあじよけふねもうかさ
トはひれど。きのうせきうれぐちうれぐち
二 菲行。けきてあめいきゆ。ねやわきぬ。うえ。おのれ
モ。うけとざれぐよとくゆ

あひそをかねとせよ。おはまのあはれとぞよ
とらひれども、まよきう。まくらゆのゆ
めのやれりばくまがまてやぢよ。ゆふあく
くねまちよと一あゆみやうすさん

うそ。あります。あれをすくひうる

其のうへてひしりけりのみとも其のうへておもむく
をかかよあよれ、男も女も、もじらがうてありそれど、男は女
がそそえあとねりよ。女との男をとらひつて、ややのわを殺
さときたうてうんあううう。さてじきあうの男アリとより。せえ
は、わつは井、肩ふけ、まうう、けす、なまじあらもぐるまよ
さうう、こゝまううあ、あまがくす、あぬまうじてねあぐべき
をとらひて、づあまうわれ、あひよう。そ年、ううううう
よ。女あやがたうりれ、うきまへ。あとまへつうひくとあ
んやう。がくらの團、ゆやまとくわくよ。しきがくよ。而ぞき
ふくら。さうけとどげりとの女。あととくわけもくとて。ビ
やうされば、たまとくわあうて。がくまよ。あんとく
うしてせんざいのゆにうれわて。ゆくらへいめが、せんじて

伏せ女とよけをしてうらめし

風あがめあらああみよやまがひくと、やん

と。よみぐれ城きそがまうかくかとひて河口ともえあ

え。まれくのまちやまとまえばげぢらえをかくもつう

けき。今やうじとげてよきうひぬがひくしげどのうなみを

なとてかうぐりてひまとまうきはまうのまうねのあどわ

わ。あうりとまくらをかくそあらはする

や。づくくつとてとてかじて原をとくあんとく。よう

こひきまう。しゆじくすまねば

あえとひく東とふすきわればのみのとひく

と。ひたとど。かとととまだなりにう

(盐) ひく男。とおだまくすみうり男をほくにと。つと

あくとゆきにとまつた。とせこまうけをじぶくひくけま。



ひと念はまひきよ。あひあんともきりまふ。け男きみ
あ。ばすあけぬとあきれどあひて。あとうべよ。け
あ。もの年せみときがねも。ああ、あまひそまね物をね
といひてあけよ。

まくさうひとひもよりか一物と
といふれど男うへにまわ。せうとれども
えどもはう。まゐのまくさう。まくさう。
あひとてせぬわうをとめう。まくさうを
とかまく。うとふくさうにたうふくさう

いわくせうり女ノ

七
七
七

十六
む。うのちけり女。ゆきみえを

(三)

ひ。やくそくうなりうる。女めくら

あ、あといきのげん。おやこはせんのなぐるえ

(世一) 葵。まの口まく。あるごくらのほやひまくをひくまく。ほ
のあくよもひき。やあ繁よがんじうさんとひよがんと
ほなむれんをひけくまくまくがくみぞおとひまく

や。りよをねもし女をもうまく

(世二) ひ。ねじひをゑ。年。あらうて

し。うのまくはまくひくひくと今はすとくもか

と。ひくうれど。のとくらゆまくさん

(世三) 苗。だとこは乃園じぐのくわうにかひくる。女めくじ
いきそく。とくとくくやまくべやとこ
あ。すうみらくる。あおひやすにまよむせやひますくね
く。こよりほなあくをひそふせまくはきてあづき

わあくぐらあとひく。ばよやあや

(世四) ひ。だく。はまくうけくのくふ

うくえまく。ひくはれてふひくよがくあま
ちくかくて。ひく。あたうくー

(世五) ひ。し。かくもくうそ。おとくのくと

玉のをくあくとひく。もくはくをめくわくとくさく

(世六) 葵。ひくわくわくわくと。ひくあく。けふ。女のくく
おせだみアくまくまくまく。おまくと。お我わくくに

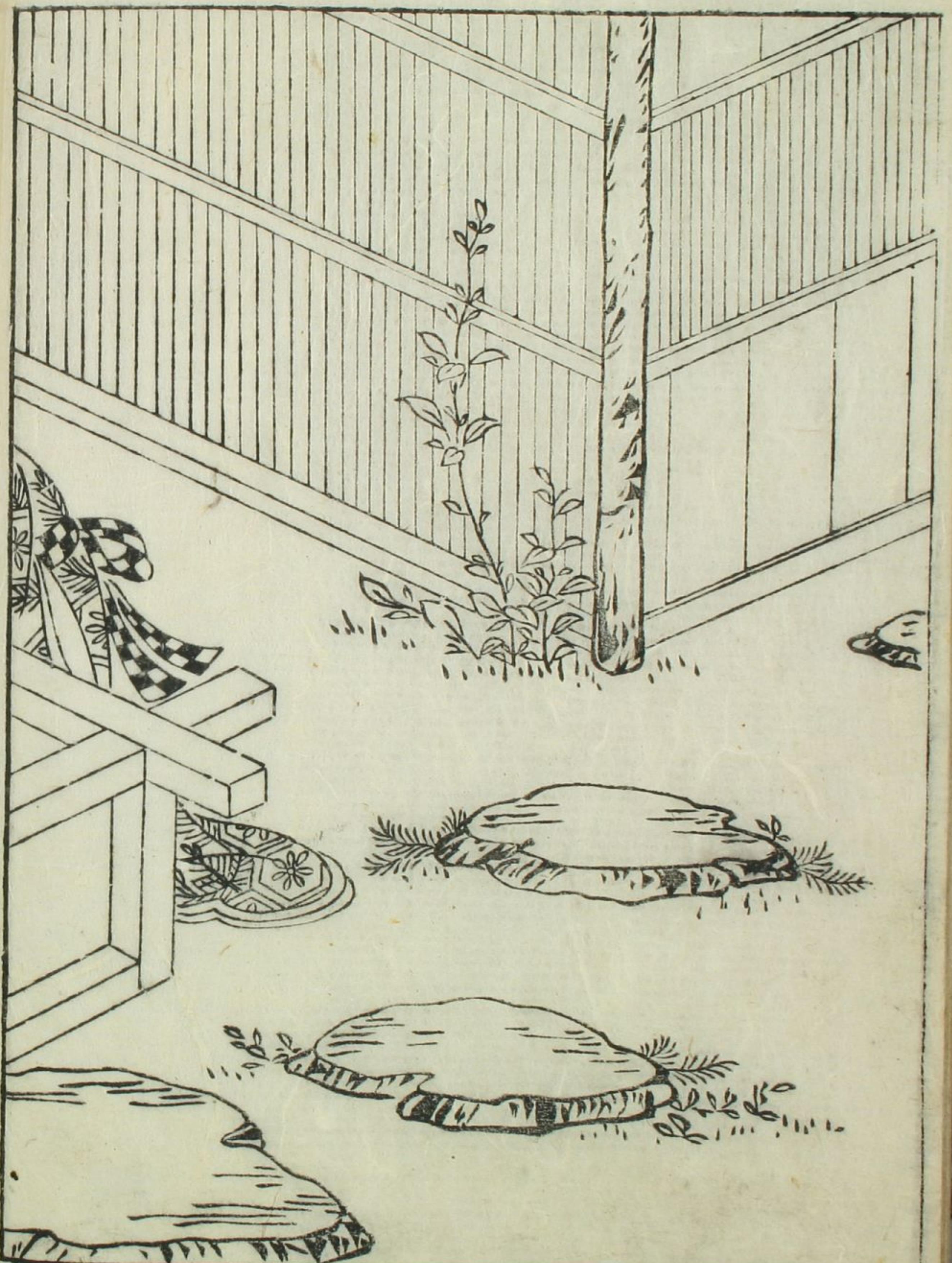
(世七) ひく。男。づくみ。おまく。女。あく。うう。じろやく。おまく

我。まく。おひく。あがく。のゆく。おまく。おまく。おまく

(世八) え。かくして。ひく。ひく。ひく。おまく。おまく。おまく。おまく

芳。化。あくほ。ひく。ひく。おまく。おまく。おまく。おまく

香。よろとひく。ひく。ひく。おまく。おまく。おまく。おまく



まくはりかひきとさうだらうと
ひのきのまことじゆくもと
ひまくわくのまくわくをせんじや
むくのさくわくをく

著男さねとある。それをあらうとまづうけり。もとく、されどわざとじろやく、さうしてひそかにほりう。たゞえあはうけられが、二日、三日、うきよの夜を度す。やがてじとあとが、まことにあらん。ものううきよの夜を度す。やがてじとあらん。

まよひあくとゆけんこあはほぢうまみを女とおじ
めくらふがくもはうきひくとくかぬやれておさゝり義
のふとぞひくとみくやすをえくみゆうとくまんのうゑかきえ
財をかまく里のあまくわくうかくまれぬとまわう
とりう。この女けくわいを

タクのまつもと田長はけどもさういふ事は

ときひづ月あらわす。わ
りあうむきまのあそび、わらひも秋とも里へおも

ひかわうおりあれどもあらじて
里 菲。男。之。を。か。よ。め。の。事。を。す。る。

ああんやがくやまくえんや。おもてにうそをかねてきよ。やくこもひる
ひると。ちやせきてうそは、うつはく。あいひ事わゆると。あ
れづも、とこあらとくうる。はなす月の晦日。あつまくあわひよひ
あきしきて、おおせいやさじき風雲うき、雲うき丸とじ男を喜び
お擺ウカセ。お擺ウカセのとまといぬてあきれうそとひにはゆゑを

くもぐるみの口くらさがむかうのまへかねぞれき
〔甲六〕者男どもはつき方有り。かねまじめひとひるばく。
のまくじきゆとくわゆとふのそづれよそ。日りてをき
せんとよおこかへぬひしやせ。ゆのくよけまくにされ
やああひよさんとくわひとくさんや。せせゆのくのく
おうれびつとれぬげきわよそ。あられとくわくわ。復くわふ
わうくわゆかくのくわくわ。とくわくわ。わくわくわ
〔甲七〕むく。男ほんじゆうどとくわくわ。それとじゆとく
とくわくわとくして。はれかのくわくわくわく
くわくわくわくわくわくわくわくわくわくわく
わくわくわくわくわくわくわくわくわくわく
〔甲八〕者男有くまのくわけせんとくを。終くまくわくわく
わくわくわくわくわくわくわくわくわくわく

